

「ビジネス英語基礎」 シラバス

学科	商業科	学年	2 年	類型		組	5 組	単位数	3
使用教科書	NEWSBREAKS for BASIC English Learners (株式会社エミル出版)								
副教材等	Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition (桐原書店)								

1 学習の到達目標

- ① 国内外の社会情勢、経済、科学技術、環境問題、歴史・文化など様々な分野に関する英文と関連する英字新聞の記事を読むことを通して、幅広い教養を身に付け、時事問題について英語で表現できる総合的な力を養う。
- ② ビジネスの世界で求められるバランスの取れた総合的で実践的な英語力を育成する。
- ③ それぞれのトピックについて、プレゼンテーション、ディスカッションなどの活動を取り入れることで、自らの意見を積極的に発表しコミュニケーションを取ろうとする態度を図る。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を更に深め、実際のコミュニケーションにおいて、場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図や考えを的確に理解したり、自分の考えや気持ちをまとめ、積極的に伝えたりしようとしているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)ペアワークやグループワークへの参加状況 (2)教師の質問に対する応答	
課題などの提出状況	(3)週末や長期休業中に指示する課題 (4)日々のプリント	
言語活動の観察	(5)スモールトーク等の会話 (6)プレゼンテーション (7)ライティング活動	
インタビューテスト	(8)口頭テスト (9)音読テスト	
ペーパーテスト	(10)定期考査 (11)小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	Content 1 SOCIETY Donating to Charity	・海外における慈善活動について学び、日本における課題について話し合う。	(9)
	Content 2 ECONOMY The Falling Yen	・通貨が売買される仕組みや為替市場について学び、今後の展望について考える。	(8)(9)
	Content 3 PEOPLE Borderless	・指揮者の小沢征爾氏について、その経歴や与えた影響について学ぶ。	(7)(8)
	Content 4 LIFE Fear or Joy?	・FOMO と呼ばれる感情について知り、デジタル機器の利用との関連を考える。	(6)(8)
二 学 期	Content 5 WORLD HERITAGE Protecting the City of Water	・世界危機遺産について学び、世界遺産の現状や課題について話し合う。	(8)(9)
	Content 6 HISTORY The Home of High School Baseball	・100 年を迎えた高校野球選手権大会の歴史を振り返り、これまでの変遷を学ぶ。	(6)(8)
	Content 7 SOCIETY Getting Around	・海外のライドシェアサービスについて学び、日本への導入する目的やその課題を話し合う。	(7)(8)
	Content 8 PEOPLE Hemingway is 125	・ヘミングウェイの生涯について学び、彼が与えた影響について考える。	(6)(8)
	Content 9 DISASTER Medicines on Wheels	・災害発生時におけるモバイルファーマシーの役割についてを学ぶ。	(7)(9)
三 学 期	Content 10 ENVIRONMENT Are EVs Really Clean?	・電気自動車の普及に伴う課題とその対策について話し合う。	(8)(9)
	Content 11 SPACE Cleaning Up Space	・スペースデブリについて知り、それを除去するための取組について学ぶ。	(6) (7)(8)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)については、全ての単元において評価項目として用いる。